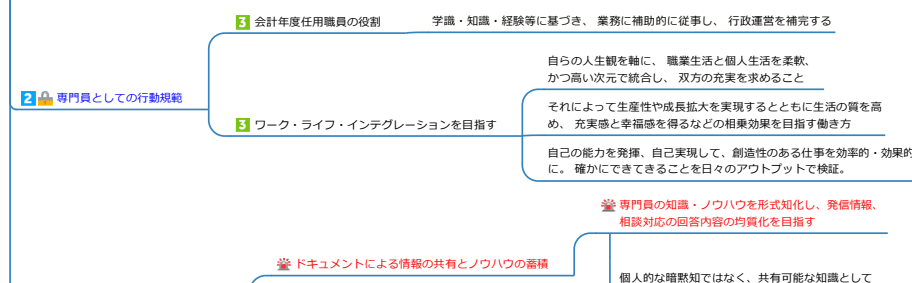
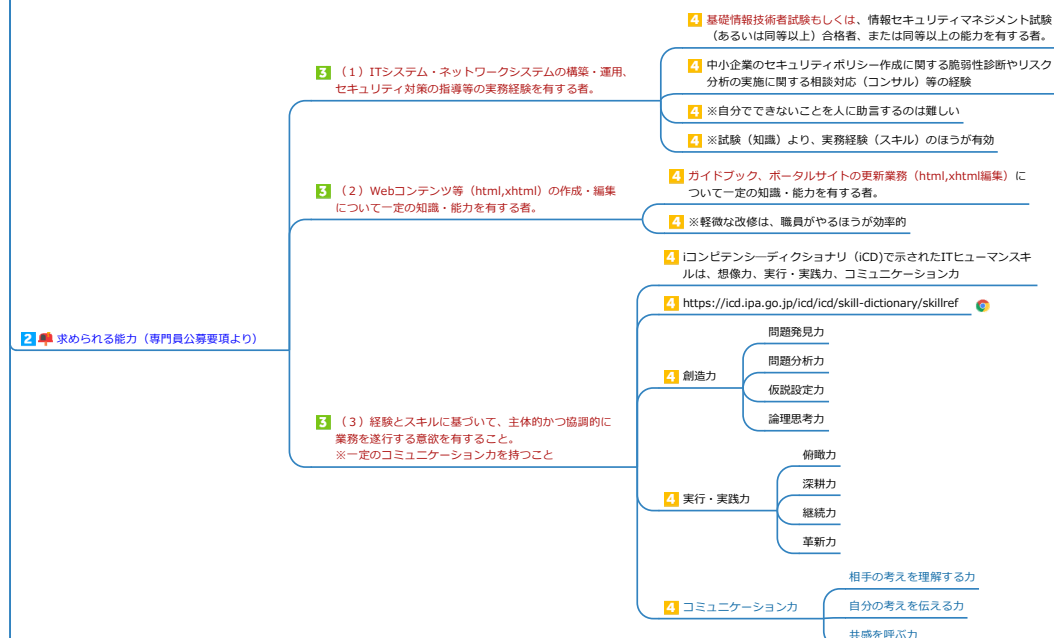
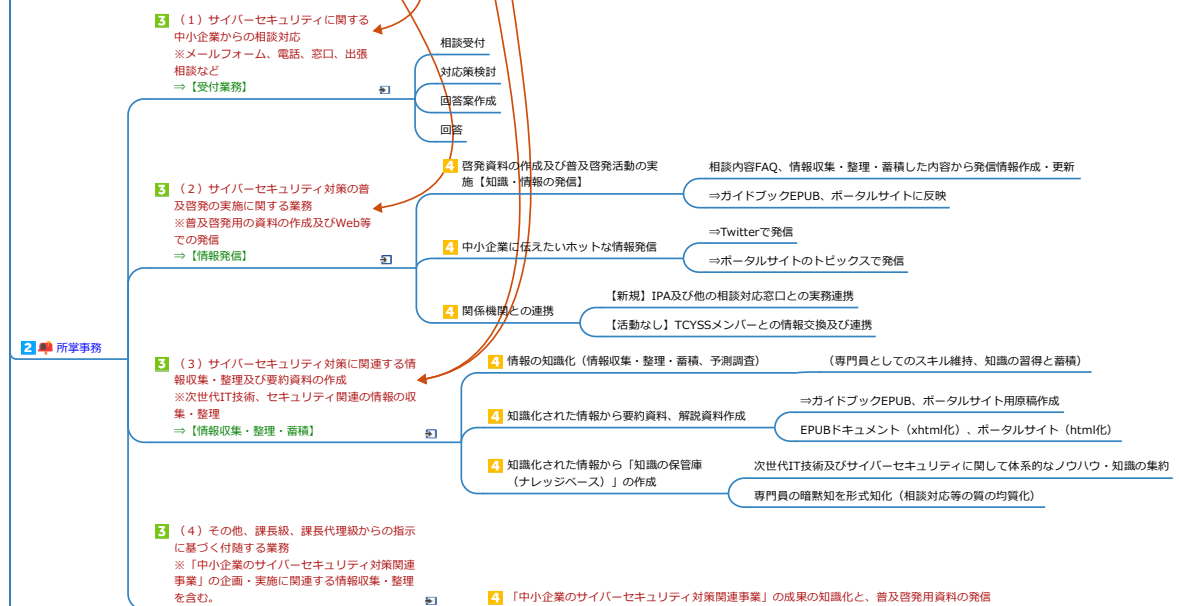
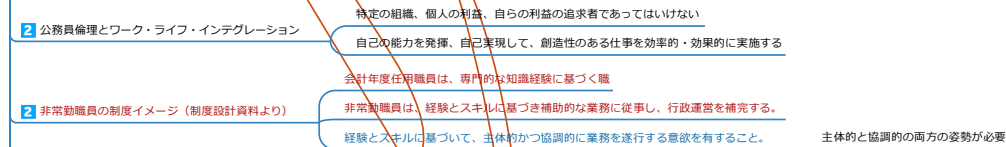


1 Sec01-08-2-3_専門員の所掌業務及び行動規範【骨子】



2 所掌事務の内容の明示の目的と意義

次世代技術、環境の活用のための実践的技術・知識の蓄積

日々の有用な情報発信に努める

相談者が現在利用もしくは今後利用すべき次世代IT技術、セキュリティ対策技術を、専門員として試行もしくは実用することにより、より実践的な情報発信および相談対応を可能にする

単に見聞した知識ではなく

Twitter,ポータルサイトでは、定期的に有用な情報発信することにより、アクセスが多くなり、組織としての存在意義を高める

1 Sec01-08-2-4_専門員の所掌業務【要約】

2 (1) サイバーセキュリティに関する中小企業からの相談対応（窓口・電話・メールなど）及び相談記録作成

（相談対応の質の向上、均質化）

方針

一次対応は、日常のルーティンワーク（定型業務）
一次対応担当が受け付け、調整の必要度を判断し、二次対応担当へディスパッチ。二次対応担当が回答する。

相談受付手段

- 電話での相談受付・回答
- Webフォームでの相談受付・回答
- 【新規】メールでの相談受付・回答
- 窓口対応

相談対応手順手順

相談対応手順（Sec01-08-2内別添）

2 (2) サイバーセキュリティに関する中小企業支援施策の実施に関する業務（※普及啓発セミナーの運営、事例集作成等）

（中小企業の経営者、システム管理者が知っておくべき情報を厳選して発信）

3 啓発資料の作成及び普及啓発活動の実施【知識・情報の発信】

ポータルサイト/更新情報

お知らせ

【拡充】ポータルサイト/関係機関提供情報

トピックス
脅威情報

【新規】「中小企業向けサイバーセキュリティ対策の極意」の解説および追補情報の発信

「中小企業向けサイバーセキュリティ対策の極意」作成時の要約前の情報をベースに解説文（虎の巻）として発信

- 第2版解説+追補情報
- HTML版
- PDF版
- EPUB版（リフロー版）

中小企業向けサイバーセキュリティ対策情報の発信【関連情報を体系的に発信する】

所掌業務（3）の「専門員ハンドブックとして整理したIT・サイバーセキュリティ関連の知識」をもとに体系的に発信

インデックスページ

サイバーセキュリティ関連各種ガイドブックの内容要約（Sec01-02）【2020年12月最終更新；更新再開予定】

S01_基本方針（各種方針・計画書・白書・報告書類）

S02_実施手順（管理者向け）

S03_実施手順（一般ユーザー向け）

S05_緊急時対応マニュアル類（専門員）

S10_TCYSS業務

S90_サイバーセキュリティ

DX01_Society5.0

個別調査分析資料

（次世代技術の実践結果報告）

Oディープラーニング、ロボット、ビッグデータ、IoT、クラウドサービス等、...

O日々の自習、セミナーを通じて取得した知見の報告書

プレゼン用マスタースライド及び解説文を事前作成及び改訂

3 出張相談・個別助言

⇒各種セミナーで相談受付だけでなく、プレゼンの時間も確保

都支援事業等でのプレゼンテーションおよび個別相談対応

ガイドブックを読了後、より詳細な解説及び助言を求める組織向け

監視庁が行うセミナーとは棲み分け

サイバーセキュリティ基本法に基づいた「サイバーセキュリティ協議会」への参画

第一類、第二類、一般構成員のうち、どのレベルか

3 【強化】関係機関との連携

NISC、IPAとの情報交換及び連携

インターネットでは公開されていないセキュリティ関連情報の共有

IPAセキュリティセンターとのホットライン

監視庁、TCYSSメンバーとの情報交換及び連携

Yammerに代わる情報共有ツールの利用促進【Teams,Zoom,Slack等】

3 FAQの作成・更新

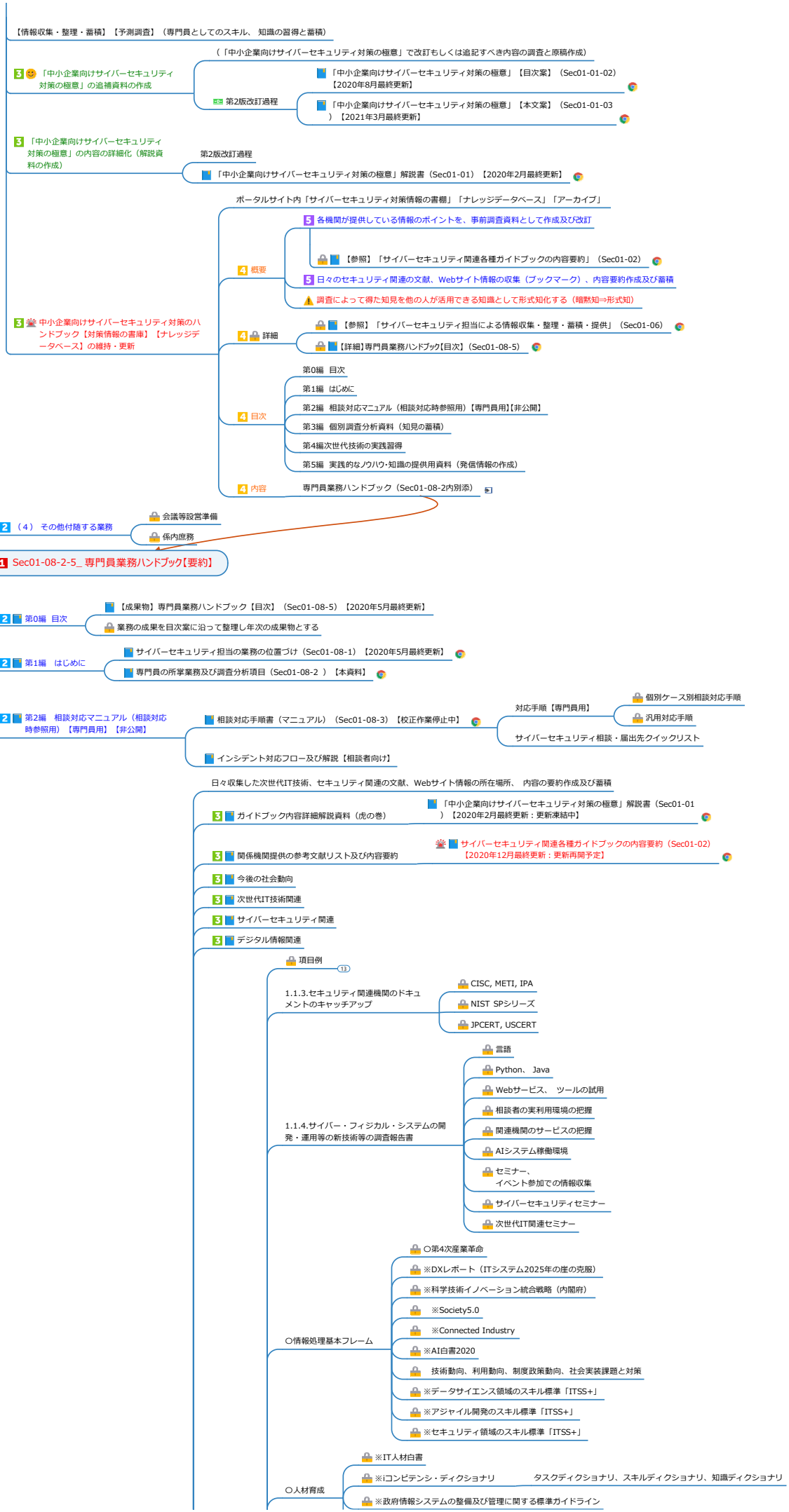
方針

FAQ分類【別シートで更新】

FAQ分類（ガイドブック項下に沿った分類）

FAQ分類（「ここからセキュリティ」を参照）

2 (3) 課長級、課長代理級からの指示に基づく各種資料作成業務



第3編 個別調査分析資料（知見の蓄積）

内容例

○情報処理実践技術

※情報処理技術者試験（基礎、応用、情報セキュリティマネジメント、情報処理安全確保支援士）のシラバス

※パブリッククラウド環境、プライベート仮想環境

※DevOpsによる迅速なソフトウェア開発

「連邦政府情報システムに対するリスクマネジメントフレームワーク適用ガイド：セキュリティライフサイクルによるアプローチ」（NIST_SP800-37）に沿った記述内容の加筆訂正

重要インフラにおけるサイバーセキュリティフレームワーク1.0版（CSF）[2014年2月12日NIST]

CSF フレームワークコア

ID 特定

PR 防御

DE 検知

RS 対応

RC 復旧

NIST SP 800-63（電子的認証に関するガイドライン）に対応した認証方式の適用について加筆

「パスワードは定期変更すべき」「パスワードは複数の」文字種で混成すべき」などの、従来は常識とされてきた対策についても、実効性や技術の進展に合わせた見直しが行われている

パスワードに代わる認証手段として、指紋や顔画面などを活用した生体認証や、認証結果を完全にやりとりできる「FIDO」の普及が期待されている

NISTSP800-53(連邦政府情報システムおよび連邦組織のためのセキュリティ管理策とプライバシー管理策)

NIST_SP_800-61_(コンピュータセキュリティインシデント対応ガイド)

CSC20（効果的なサイバー防御のための重要なセキュリティコントロール）

NIST SP800-82R2 Guide to Industrial Control Systems (ICS) Security

※NIST_500-37_R2.0（リスクマネジメント）+ NIST_800-53_Ver.4.0（管理策）

※ISO27001（情報セキュリティマネジメント）

※NIST_CSF（サイバーセキュリティフレームワーク）

※NIST_SP_800-61(インシデント対応)

※NIST_SP_800-63_(電子的認証に関するガイドライン)

※IEC62443-2-1(CSMS制御システムにおけるセキュリティマネジメントシステムの構築に向けて)

○セキュリティ関連実践情報

※サイバーセキュリティ基本法、サイバーセキュリティ戦略（NISC）

※「サイバーセキュリティ経営ガイドライン、中小企業の情報セキュリティガイドライン第3版（METI、IPA）

※サイバー・フィジカルセキュリティ対策フレームワーク（METI）

※サブライチェーン

※DevSecOps(セキュアなソフトウェア開発ライフサイクル)

知識の収集方法

4 独学・自習

情報処理技術者試験レベルの知識の習得

ITストラテジスト試験

情報処理安全確保支援士試験

応用情報技術者試験

情報セキュリティマネジメント試験

システム開発・運用の新技術等の習得

プログラミング言語

Python

Java

各種機械学習モジュールのAPI利用

...

Webサービス試用

相談者の実利用環境の把握

関連機関のサービスの把握

4 セミナー等での情報収集

サイバーセキュリティセミナー

次世代IT技術セミナー

新技術・新製品紹介展示会

4 関係機関との情報交換

NISC、経産省、総務省等との情報交換

警視庁、IPA、TCYSSメンバーとの情報交換

ユーザー側である中小企業支援団体との事例等の学習の機会を設ける

先進技術の実践によるノウハウ習得

3 次世代IT利用環境・ツールの活用実践

相談者の実利用環境の課題把握

関連機関のサービスの把握

Webサービス、ツールの試用

3 ソフトウェア開発環境の活用実践

開発環境

AIシステム稼働環境

...

言語

Python,R,Java

...

3 所掌事務（2）サイバーセキュリティに関する中小企業支援施策の実施に関する業務で公開するドキュメントの作成

（中小企業の経営者、システム管理者が知っておくべき情報を厳選して発信）

3 サイバーセキュリティ対策説明資料（プレゼン資料）

3 次世代IT活用のための説明資料（プレゼン資料）

第4編次世代技術の実践習得

第5編 実践的なノウハウ・知識の提供用資料（発信情報の作成）

付録

Sec01-08-2-6_相談対応手順【要約】

簡易な相談は、一次対応担当が回答。
複合的な内容、技術的な案件は、相談のカテゴリを確認し、二次対応担当へ引継ぎ。

法律違反の可能性

